

平成30年度官民協働海外留学支援制度「トビタテ!留学 JAPAN」日本代表コース」日本代表に今年も、木田安菜さん（高2）と東野美海さん（高1）の2名が選ばれました。昨年も卒業生の奥村麻優さんと生橋愛子さんの2名が選ばれていますので、3年連続の2名選出となりました。木田さんはイタリアへ、東野さんはニュージーランドへ留学する予定です。二人に話を聞きました。

文科省「トビタテ!留学 JAPAN」代表 今年も一人が選出されました!



「探究する姿勢」

アカデミア探究部長 本間晴行

あじさいが美しい季節になりました。新学期が始まつて3ヶ月が過ぎようとしています。新入生のみなさんも学校に慣れてきたころだと

ところで、人工知能（AI）も生活の中に入り、私たちの身の回りには、多くの人が便利になつてきています。このような生活に至るまで身の回りには、まだまだ知られていないことがたくさんあります。彼らの未解決の問題に取り組んでいます。

数学では未解決の問題として「四色問題」がありました。この問題は、1976年、アッペル氏とハーケン氏が、従来の手法とは異なり、コンピュータを利用して問題を解決したことで知られています。また、2014年のノーベル物理学賞を受賞された赤崎氏・天野氏・中村氏による『高輝度省電力の白色光源を可能にした青色発光ダイオード(LED)の発明』では、当時結晶化が非常に難しかったことに対しても、それが研究者が、果敢に「探究する姿勢」で挑戦して、問題解決や発明を成し遂げました。最近では、2008年に茨城県の女子高校生が、「BZ反応」という化学実験を行い、今までに知られていなかつた化学変化を偶然に発見したことが、當時話題になりました。これによつて、白色LEDの製品化が可能となりました。このように、今までに解けなかつた、非常に大切な問題に対しても、様々な問題に対しても、これまでに解けなかつた、非常に大切です。

この「探究する姿勢」を磨くためには、日頃から課題を持って問題解決に取り組むとともに、いろいろな視点で課題を見る姿勢が大切です。このいろいろな視点で見る力を培う一番の方法は、「読書」だと私は思います。「読書」は知識を学ぶ以外に、自らの考えと異なる視点に触れることがあります。みなさんのが、自分の「探究する姿勢」を磨くことができる、とても素晴らしい機会です。

みなさんのが、「探究する姿勢」を磨けば、きっと新たな問題に出会つても積極的に挑戦することができます。そのため、日頃から「読書」に親しみ、いろいろな視点を身につけるとともに、課題を持って取り組む「探究する姿勢」を持つて、様々な問題に対しても、挑戦することができます。



6月号
(第357号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校

タリアへ行き、その迫力を生で感じたいです。そして、これから世界のグローバル化が進むことを考えれば、声楽だけでなく、より積極的に自分をアピールする力も学びたいです。

(木田 安菜)

私は、短期で語学を中心に学ぶコースに応募しました。英語で自分の意見を伝えることができるようになりたいからです。また、ニュージーランドは、女性の社会進出度が高いことから、女性の社会進出度が著しく低い日本で、自分には何ができるのかを留学を通じて考えていきます。そして何よりも、自分にしかできない経験を通じて、人として大きく成長できる10週間にします。

(東野 美海)

中学2年 滋賀合宿研修

今回の滋賀の合宿研修は、とても短く感じられました。

一日目は、イングリッシュスピーチに行きました。そこで英語しか使うことができないため、私たちから先生たちに伝える時も身振り手振りで話しました。とても活発に活動することができました。

二日目の午前中は、コース別学習で私のクラスは国立印刷局に行きました。普段使っているお札について知らないことも多く、とても勉強になりました。一億円のダミー券を持つてみたり、印刷している場所の見学もでき、貴重な体験ができました。

三日目は、近江八幡市のマチ探しをしました。ミッションの答えやその手がかりを街の中から探し出しますが、なかなか見つからず、苦労しました。しかし、どの班も協力して答えを見つけることができ、無事にゴールしました。一億円のダミー券を持つてみたり、印刷している場所の見学もでき、貴重な体験ができました。

合宿研修を通して、班はもちろんクラス・学年の仲がさらに深まりました。

(岡本 茜)

中学生3年 九州研修旅行

今回の研修旅行で、私は大切なことを二つ学ぶことができました。その一つが「平和」についてです。私たちは一日目に水俣へ行きました。水俣では、水俣病について学びました。被害者の方々の具体的なお話を聞き、その差別に対する苦しみを実感しました。三日目は長崎で原爆について学びました。長崎平和ガイドのみなさんにガイドをしていただきましたが、私たちが聞いていただけでしたが、私たちが聞くと恐ろしいと思ってしまうようなことを、何気なくお話しされる様子に、いかに戦争が多くありました。

私は、芸術・スポーツ分野で応募しました。初めて本格的に学びたい、うまくなりたいと思ったのが声楽でした。今回の留学の目標はイタリアの发声法を習得することです。私は、聞き手が陶酔するような歌唱法が特徴的な、オペラの本場としてその歌が国民性を作っていると思う

く人の日常を奪つたのかと考えさせられました。また、三日目と四日目には広い範囲の中で、班で自由に行動しました。私は正副委員長という立場であり、クラスの皆をまとめることが必要なりませんでした。はじめは、各班の班長との意思疎通がうまくできず、大変なこともあります。しかし、この研修旅行で皆と一緒に試行錯誤しながら取り組むことで、以前より団結することができたと思います。こうして得られた「絆」が、もう一つの学べた大切なことです。

この研修旅行の目標である「触れる・自然・歴史・知恵」を意識しながら、たくさんのことを学び、吸収できたと思います。

(山田 萌生)

5月27日(日)、県高校総体、市立団体総合兵庫県予選(姫路市ウインク体育館)が行われ35年ぶり、16回目の団体総合1位になりました。個人総合でも二宮さやかさん(高2)が優勝しました。これは昭和52、53年に宮永素子さんが2連覇してから41年ぶりのことです。

部長の中野優希さん(高3)は「個人の強みが組み合わさってつかめた優勝」と新聞のインタビューに答えていました。彼女たちが武庫川女子大学附属高等学校体操部の新しい歴史を作つてていきます。



体操部35年ぶり16回目の団体優勝!

5月27日(日)、県高校総体、市立団体総合兵庫県予選(姫路市ウインク体育館)が行われ35年ぶり、16回目の団体総合1位になりました。個人総合でも二宮さやかさん(高2)が優勝しました。これは昭和52、53年に宮永素子さんが2連覇してから41年ぶりのことです。

部長の中野優希さん(高3)は「個人の強みが組み合わさってつかめた優勝」と新聞のインタビューに答えていました。彼女たちが武庫川女子大学附属高等学校体操部の新しい歴史を作つてていきます。



第32回サマー・コンサート開催

オーケストラ部、コーラス部、マーチングバンド部、箏曲部によるサマー・コンサートが6月10日(日)公江記念講堂にて行われました。今年もたくさんの方にご来場いただき、大盛況でした。

5月22日(日)に、武庫川女子大学公江記念講堂で学校生活の紹介と募集要項の説明、部活動紹介に加え、校内見学もできる入試説明会を行います。関心のある周囲の方に、ぜひお知らせください。



第一回入試説明会のお知らせ

7月22日(日)に、武庫川女子大学公江記念講堂で学校生活の紹介と募集要項の説明、部活動紹介に加え、校内見学もできる入試説明会を行います。関心のある周囲の方に、ぜひお知らせください。

時間…小学生対象 10時30分～12時 (校内)

中学生対象

見学 13時～14時30分 (校内)

見学 14時30分～15時30分 (校内)

